

## 平成 28 年度 中国・四国ブロック事業報告

### 1. 活動テーマ

『地域における保健師の保健活動に関する指針』に基づいた保健師の人材育成の構築及び保健師活動の可視化と質の向上に向けた取り組み

### 2. 目的

- 1)保健師の人材育成の体制を構築し、質の向上を図る。
- 2)保健師活動の地区診断等の可視化を行うとともに PDCA サイクルで保健活動を推進する。
- 3)各支部との情報交換を行い、相互の連携と支部活動の活性化を図る。

### 3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
1	7月23日(土) 10:15~12:00	広島市東区 総合福祉セ ンター	【支部長会】出席者 15名 (1)全国保健師長会理事会報告等 (2)ブロック活動計画、研修会について (3)情報交換：支部の活動計画及び活動状況、課題等
2	8月27日(土) 【支部長会】 10:00~11:15  【ランチョン 自由交流会】 12:15~12:45  【研修会】 13:00~16:00	広島市東区 総合福祉セ ンター	【支部長会】出席者 16名 (1) ブロック研修会について (2) 情報交換：支部の活動状況と課題等 【ランチョン自由交流会】 会の活動状況の展示、カフェコーナー 【研修会】出席者 103名 テーマ：「保健師の人材育成の構築及び保健師活動の可視化と 質の向上に向けた取り組み～地域に責任をもった保健師 活動を行うには～」 (1) 全国保健師長会活動方針説明 (2) 講演「保健師人材育成体制の構築の推進について ～キャリアラダー、パスの作成と活用～」 全国保健師長会 副会長 山野井 尚美氏 (3) 実践報告 1) 「人材育成の推進の実際について～島根県における 保健師人材育成ガイドライン策定からその後～」 島根県健康福祉部健康推進課 調整監 藤谷明子氏 2) 「災害時における体制整備と保健師の役割～広島市 土砂災害支援活動及び熊本震災派遣から～」 広島市健康福祉局保健医療課 保健指導担当課長 谷本 文代氏 3) 「保健師による地区診断に基づくPDCAサイクル の実践モデル開発について～問題発見における課題解 決方法～」 山口県宇部市北部総合支所 副主幹、中山間地域・保健 福祉支援チーム 佐々木里佳氏 (4) 研究報告「「地域包括ケアシステム構築における保健 所・市町村保健師の保健活動に関する研究」 福岡県糸島保健福祉事務所 健康増進課長 森松薫氏 (5) ミニグループワーク「地域に責任をもった保健師活動を 行うには？・・・～今日からできること～」 助言 全国保健師長会 副会長 山野井尚美氏
3	1月24日	メール	【メールでの情報交換】 (1) H28年度の支部活動状況報告 (2) 情報交換 (3) 次年度ブロック研修会について

#### 4. 結果・課題

- ・研修会の会場は、従来は広島と岡山で交互に開催していたが、各県の会員が参加できるよう H27 年度から 2 年目理事の地で開催することとなり、参加者数は従前を上回り、H27 年度 60 名、H28 年度 103 名と多数の参加があった。
- ・H28 年度の研修会は、テーマに基づき、H28 年 3 月に出示された人材育成構築の推進に関して、山野井副会長から統括保健師の機能、キャリアラダー、パスの作成と活用について、管理期の保健師のもっておきたい視点等を話され、旬な話題だったためか、「人材育成や事業全体の見直しの参考になった。」等の感想があった。
- ・実践報告 3 題は、①「島根県における人材育成」について、県で指針を作成し、ラダーと連動した研修の実施等話され、「統括保健師の育成まで視野に入れたガイドラインは参考になった。」と感想があった。②4 月に熊本の震災が発生したため、急遽、「広島市の災害時における体制整備と保健師の役割」についての報告を入れ、受援と派遣の両方を経験した課題に基づいた体制整備をまとめて話され「平時からの地域の状況と自分の役割を把握しておく必要があることを再認識した。」と感想があった。③H27 年度の全国保健師長会研究事業であった山口県宇部市の「地区診断に基づく PDCA サイクルの実践モデル開発」について、課題解決の手法を具体的に話され「若手の育成に丁寧に取り組んでおられ、素晴らしい」と感想があった。研究報告では、地域包括ケアシステムは各自自治体で取り組む喫緊の課題で、市町と保健所の役割と連携、コーディネート力が大切であることを話され、参加者からの参考度がとても高かった。
- ・ミニグループワークでは「短時間だったが他の自治体との情報交換ができて良かった」という感想が多かった。また、会の活動状況の展示やグループワーク前に元気が出る「保健師マーチ」を笑顔で歌って雰囲気づくりを行ったことは大変好評であった。今後、限られた時間の中で充実かつ満足度の高い研修を実施するために内容を再検討したい。
- ・支部長会では各支部活動の報告等を行い、「地区担当制」を導入し実践している県の報告や「災害時の保健活動支援」の報告会や、課題、今後の方向性について具体的に意見交換ができた。各支部での研修会講師について、他の支部で招いた講師（医療機器の会社から「元気が出る！人材・組織マネジメント」の講演）を紹介するなど、お互いの情報が役に立っていた。また、昼食会は情報交換のできる交流の場となり有意義であったので継続の声が出ている。

#### 5. 支部活動の特徴

各支部の活動は、①圏域を分けて研修会や座談会を行う②県や市町保健師協議会、他の団体（看護協会、産業保健、国保連等）と共催で研修会を行う③保健師活動の伝承のために映像記録や冊子を作成する④県独自の保健師活動指針を研修会で周知する⑤テーマを決めて会員限定の勉強会を開催する等、支部ごとに魅力ある活動に向けて取り組んでいる。

#### 6. 委員・支部長

○理事	亀井 典子	広島県緩和ケア支援センター 緩和ケア支援室
理事	小野 みさ江	山口県健康福祉部 健康増進課 健康づくり班
鳥取県	大塚 月子	鳥取県東部福祉保健事務所 障がい者支援課
島根県	四方田 悦子	島根県出雲市健康福祉部 健康増進課
岡山県	西尾 恵	岡山県健康福祉部保健福祉課 地域福祉・法人指導班
広島県	中居 真弓	広島県福山市保健福祉局保健部 健康推進課
広島市	杉 直子	広島市西区厚生部 健康長寿課
山口県	山崎 千鶴代	山口県山口健康福祉センター
徳島県	六鹿 裕子	徳島県精神保健福祉センター
香川県	松原 佳代子	香川県東讃保健福祉事務所 保健対策課
愛媛県	檜垣 裕子	愛媛県中予保健所 健康増進課
高知県	川村 尚美	高知県中央西福祉保健所 地域支援室